

# 平成26年度 静岡県立こども病院エコー室改修空調設備工事

図面リスト

図 番	図 面 名	縮 尺
M-00	表紙・図面リスト	N. S
M-01	特配仕様書 (1)	N. S
M-02	特配仕様書 (2)	N. S
M-03	工事区分表	N. S
M-04	空調換気設備 機器表・制気口リスト	N. S
M-05	空調換気設備 ダクト・配管平面図 (改修)	1 / 5 0
M-06	空調換気設備 ダクト・配管平面図 (撤去)	1 / 5 0

図 番	図 面 名	縮 尺

# 機械設備工事特記仕様書

Ⅰ					
工事概要		平成26年度 静岡県土木も須設工一審改修機械設備工事			
1	建設工事場所	静岡	美濃川	金山	山内
2					
建物概要					
3	建物の種類	構造	階数	改修範囲延床面積（㎡）	備考
	建物（棟）名称	SRC	地上階	35,737.73	改修
	エコー室(2棟)門				
4					
工事科目（○印のあるもの）					
	①空調設備と設備、換気設備	◎給湯設備	◎暖房方式設備		
	●押入れ設備	◎消火設備			
	●新子結具設備	●ガス設備			
	◎煙戸結束設備	●厨房機器設備			
	●足形結束設備	●浄化槽設備			
	◎煙戸排水設備	●さく井設備			
	●煙戸排水設備	◎撤去工事			
Ⅱ					
仕様					
1	特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官庁営繕部事務の仕様書が平成26年度による。	●公共施設改修工事標準仕様書（建築工事編） ●公共施設改修工事標準仕様書（電気設備工事編） ●公共施設改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ●公共施設改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ●公共施設改修工事標準仕様書（機械設備工事編）			
2	建築工事標準詳細図（電気設備工事編）平成25年版 ●公共施設改修工事標準詳細図（電気設備工事編）平成25年版 設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。 (1) 質問回答書(2)～(5)に対するもの (4) 図面 (5) 設計書 (6) 標準仕様書	(3) 特記仕様書			
3	特記仕様	(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。 (3) ○印のついてない場合は、※印のついたものを適用する。 ○印と※印のついた場合は、共に適用する。			
4	例	適用			
	・A・B	◎	※D	・C	
	・A・B	◎	※D	・C	
	・A・B	◎	※D	・C	
	・A・B	◎	※D	・C	
この工事は、工事関係する法令、条件及び規定等に基づいて施工する。直前工事の検査を必要とする工事については、工事完成時までには検査を受け検査済証等の交付を受ける。					
地方独立行政法人静岡県立病院機械設備工事請負契約第20条の規定により独立行政法人静岡県立病院を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する仕様書（以下「基本計画書」という。）を発注者へ提出し、承認を受けるものとする。					
また、基本計画書には、中止時における工事の進捗状況、機材の休廃、労務人数、搬入材料及び建設機械器具等の運送に関すること、中止に伴う工事現場の体制の確保と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。					
また、工事の進行を一時的に中止する場合は、工事の執行に備え工事現場を保全すること。					
提出を要する施工計画書（仮説を含む。）(2) 工種別施工計画書 施工図等の著作権に係る当該建築物に関する使用権は発注者に移譲されるものとする。					
国土交通省大臣官庁営繕部の「工事受入のやり方（改訂版3版）建築設備編」によるほか、監督職員の指示により増彰する。（精簡：新設） ※既設現場事務所内に於ける材料倉庫の使用可能である。（103,304） 敷地内に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。 ※ できる できない					
※配置を要する。ただし電気工事が仮設工事の場合は不要とする。 (1) 引渡しを要するもの (2) 特別管理産業廃棄物 (3) 再資源化を図るもの (4) 埋置管 (5) 埋込パイプライン(鋼管)					
撤去する配管、ダクト等の保固は分離する。引渡しを要する配管、ダクト等の保固は分離する。撤去部はアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理すること。 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）の届出の有無 ※提出を要しない（対象工事でない）、届出を要する（対象工事である）特定建設工事の場合は、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。					
(1) 分別解体の方法					
(2) 特定建設資材等廃棄物の種類と再資源化等を要する施設					
特定建設資材廃棄物の種類 再資源化等を要する施設名称 所在地					
・コンクリート ・コンクリート及び鉄筋から成る建設資材 ・木材 ・アスファルト・コンクリート					
注(1)、(2)については精算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。 受注者の指示する分別解体の方法、施設等と異なる場において、設計変更の対象としない。					

[illegible][illegible]

排煙設備	3 排煙口開放装置 4 排煙風量測定	・ 電取付（スリット形） ・ フレイヤース式 建築設備定期調査業務基準 平成20年度版（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
燃焼設備	1 大便器洗浄水量 2 隅付ロータリー 3 掃除機 ③ 木栓	大便器の洗浄水量は8.5L以下とする。（隅付ロータリーを除く）ただし、器具の標準洗浄水量が6.5L以下の場合は、8Lに調整すること。 ※ 防塵型 ・ 普通型 ※ 排水形式 ・ 鎖付き枝柱 ※ コア形式 ・ リュコテ ・ 普通ココテ
● 屋内給水設備	① 配管材料 ② 配管接合 ③ ヲラフジ接合	屋內一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 (VB) 土中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 (VD) ． ※ 100A 以下 A 以下 (FVB、FVDとする) わじ接合 ※ 125A 以上 A 以上
● 屋外給水設備	1 引込み納付金 2 止水器 3 止水材料 4 配管材料 5 配管接合 6 緊急通断弁装置	※ 貸与品 ・ 本工事（構造団形） ※ 水道事業者の規格 土中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 (VD) (40A 以下) ． ※ 水道管用ホリエーレンツ管 (50A 以上) 架空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 (VB) ． ※ 100A 以下 A 以下 (FVB、FVDとする) わじ接合 ※ 125A 以上 A 以上 トヲフジ接合 ※ 電気式 ・ 機械式
● 屋内排水設備	① 配管材料 ② 試験 ③ その他	排水 ④ 排水管硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 (RF-VP) ． ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) エット内 ． 配管用炭素鋼管 (白) 汚水 ⑤ 排水管硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 高温排水 ． ※ 排水管硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 ． ※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル炭素三層管 (RF-VP) ． ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) エット内 ． メカニカル形排水用鎖鉄管 通気 ⑥ 配管用炭素鋼管 (白) ． ※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル炭素三層管 (RF-VP) ． ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) エット内
● 給湯設備	① 配管材料 ② 配管材料 ③ 試験 ④ その他	不潔 ・ 要（・別添工事・本工事） ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) (※ 15A 以下 A 以下) ． ※ 硬質塩化ビニル管 (VD) (※ 150A 以上 A 以上) ※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル炭素三層管 (RS-V0) (150A 以上) 改良樹脂は本特記仕様書標準図による。 小口径消防設備ハットは本特記仕様書標準図による。 蓋は汚水、雨水等の文字を入れ、鎖付とする。
● 消火設備	① 配管材料 ② ヴィンチパイプ ③ 屋内消火栓箱	※ 一般配管用ステンレス鋼管 ． 水道用熱処理硬質塩化ビニルライニンツ鋼管 屋內一般 ※ 配管用炭素鋼管 (SIFG370 白管 set40) ． 圧力配管用炭素鋼管 (白) 土中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面軟質鋼管 (VS) ． ※ 消火用硬質塩化ビニル外面軟質鋼管 (SIFG370VS 白管 set40)
○ ガス設備	1 ガスの種類 2 配管材料 3 ガスメーター 4 ガス漏れ警報機 5 緊急遮断弁 6 試験 7 その他	都市ガス 13A 45MJ ． 液化石油ガス 102MJ ※ 配管用炭素鋼管 (白) 土中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管 (PFP-RIS) ． ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) ※ 倉庫品 ・ 本工事 ． 腐りやすい ・ 設けられない 保持時間は2分以上とし、記録計による測定表を提出する。 ガス不備へ紙面防止の鎖は本工事とする。
○ 厨房機器設備	1 厨房機器	別途厨房機器図面による。

# 機械設備工事特記仕様書

浄化槽整備	1 処理方式 2 処理能力 3 本体構造 4 放流水質 5 配管材料 6 土留め工法 7 報告	合併処理・建設基準法施行令第35条の認定品による ・建設省告示第1292号による。第( ) (方式) 処理対象人員 処理水量 ・コンクリート製 ・F R P製 BOD ppm 以下 ・一般配管用ステンレス鋼管 ( ) ・耐熱性硬質塩化ビニル管 ( ) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ( )
3ヶ月間(月2回)点検を行い、完了後に報告書(点検記録、水質検査の結果)を提出すること。生物化学的酸素要求量 (BOD)、水素イオン濃度 (pH) 浮遊物質量 (SS)、太陽菌数 (最増数法) について実施する。		

(空調屋内機・バル落下防止・振れ止めの参考図)

天井とところ (H) が 1.5m 以上の場合、吊りボルトと  
同材を用いて斜め補強を4面に施す。  
斜め補強は、1面につき1本とし、手前と奥の斜め材  
が相対する方向に配置する。 \*

吊ボルト

振止め支持金具

斜め補強

吊ボルト

吊ボルト位置調整金具  
(吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防振吊金具

1 種別	・ 浅井戸 ・ 深井戸
2 掘削方式	・ ロータリ式 ※ 配管用炭素鋼管（鋼）
3 ケーシング	・ パーカッション式 ・ ダウンザールハンプ式
4 ストリーパー	・ ※ ステンレス製巻線型 ・ ※ 連続測定 ・ ※ スポット測定
5 電気使用	※ 行う（原水全項目）
6 水質検査	・ ※ 行わない

吊ボルト

振止め支持金具

吊ボルト位置調整金具  
(吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防塵罩金具

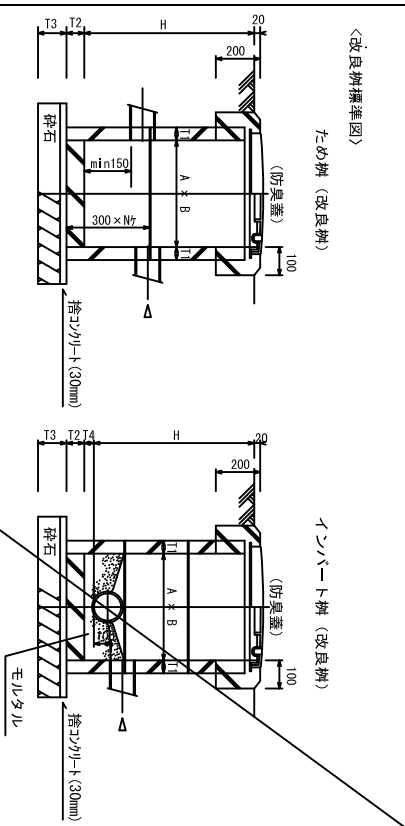
ワイヤー (約1mm程度) 対角に設置  
(200mm程度の長さを確保すること)

パネルの本体にワイヤーを固定

H

○ 撤去工事	① 冷媒（フロン系）の回収及び破壊	<p>※有</p> <p>・ 無</p> <p>（１） 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行うこと。</p> <p>また、法に規定するもの、他の、次の書類を監督職員に提出すること。</p> <p>（ア） 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し</p> <p>（イ） フロン類の最終処理に関する証明書</p> <p>（ロ） 行管理票の様式は、監督員の指示による。</p> <p>（３） 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクルする（フロン類の回収を含む。）を行ない、監督員に次の書類を提出する。</p> <p>（ア） 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し</p>
--------	-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

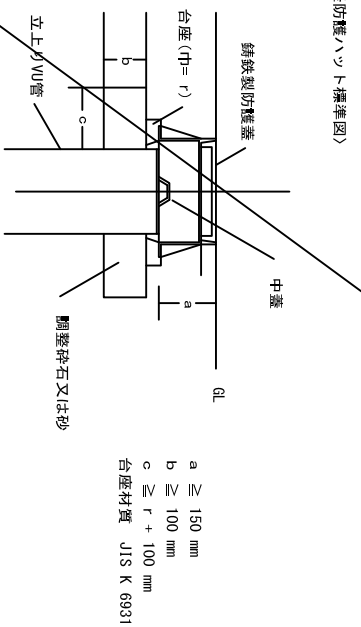
名称	配管種
・給水管	
・排水管	
・冷温水管	
・冷媒管	
井類	
・仕切井	
・バタツライ井	
・逆止井	



配号-	A × B	H	T1	T2	T3
RK-1	300 × 300	400	60	60	100
RK-2	360 × 360	400	60	80	100
RK-3	450 × 450	410 ~	600	80	100
RK-4	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	100

配号-	A × B	H	T1	T2	T3
SK-1	450 × 450	~ 600	60	80	30
SK-2	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	50



名称
<p>配管類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給水管</li> <li>・排水管</li> <li>・冷温水管</li> <li>・冷媒管</li> </ul> <p>弁類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕切弁</li> <li>・バタフライ弁</li> <li>・逆止弁</li> <li>・緊急遮断弁</li> </ul> <p>ポンプ類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給水用ポンプ</li> <li>・空調用ポンプ</li> <li>・消火ポンプ</li> </ul> <p>※タンク類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽</li> <li>・蓄排水槽</li> <li>・貯湯槽</li> <li>・膨張水槽</li> </ul> <p>※空調設備工事用機材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージエアコン</li> <li>・空気調和機 (AHU)</li> <li>・冷却塔</li> <li>・ヘッダー</li> </ul> <p>※自動制御機器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視盤</li> <li>・リモート盤</li> </ul> <p>給排水衛生設備工事用機材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生器具</li> <li>・水栓</li> <li>・組立てマンホール</li> </ul> <p>※浄化槽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・F R P 浄化槽</li> <li>・動力磁、制御磁</li> <li>・フロー</li> </ul> <p>※さく井</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーン</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スリープ（つば付鋼管）</li> </ul>

表のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。  
 ◎印のない場合は、※印を適用する。

その他

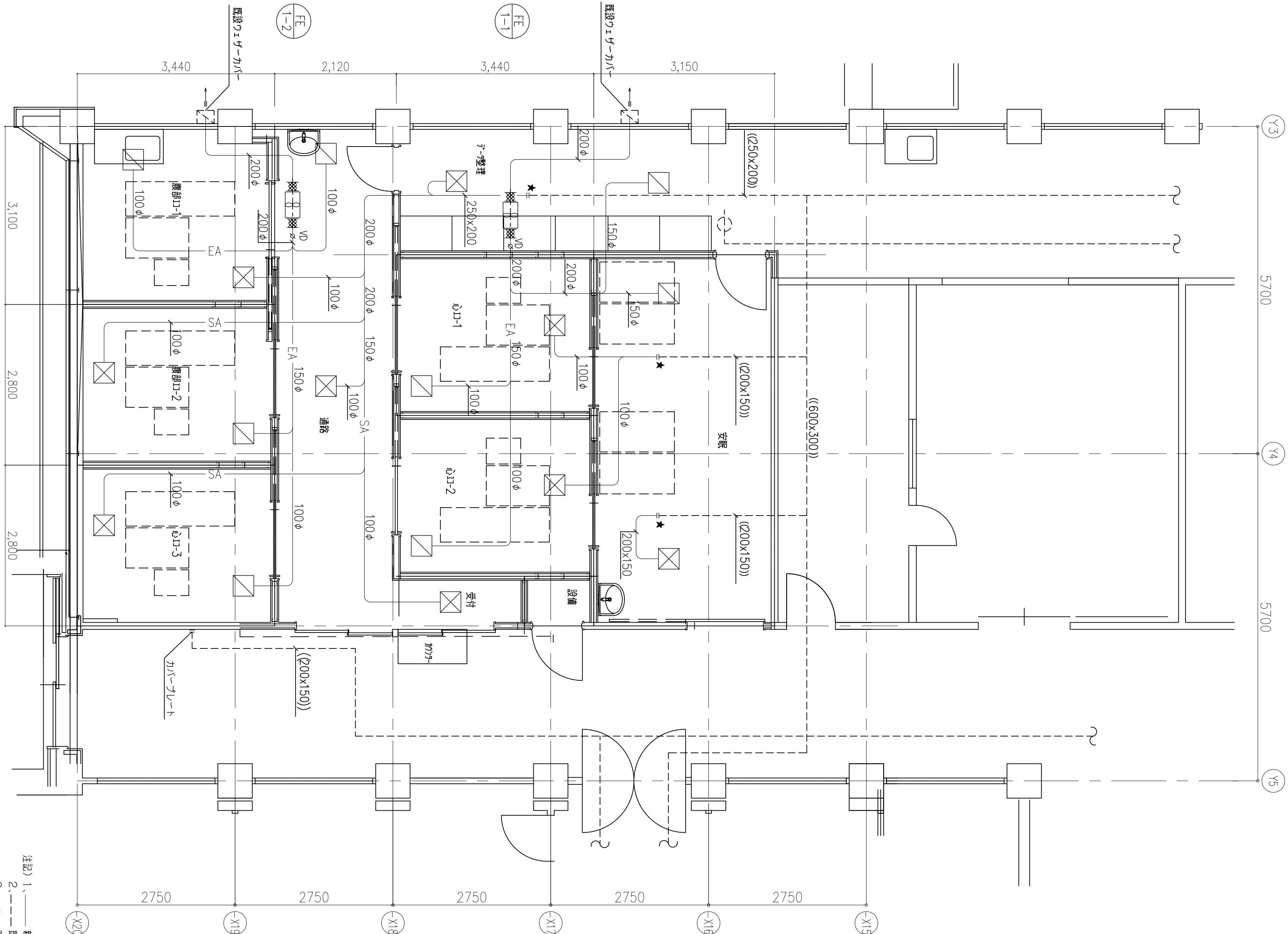
1) ステンレス材を酸洗した場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。

### 施工条件

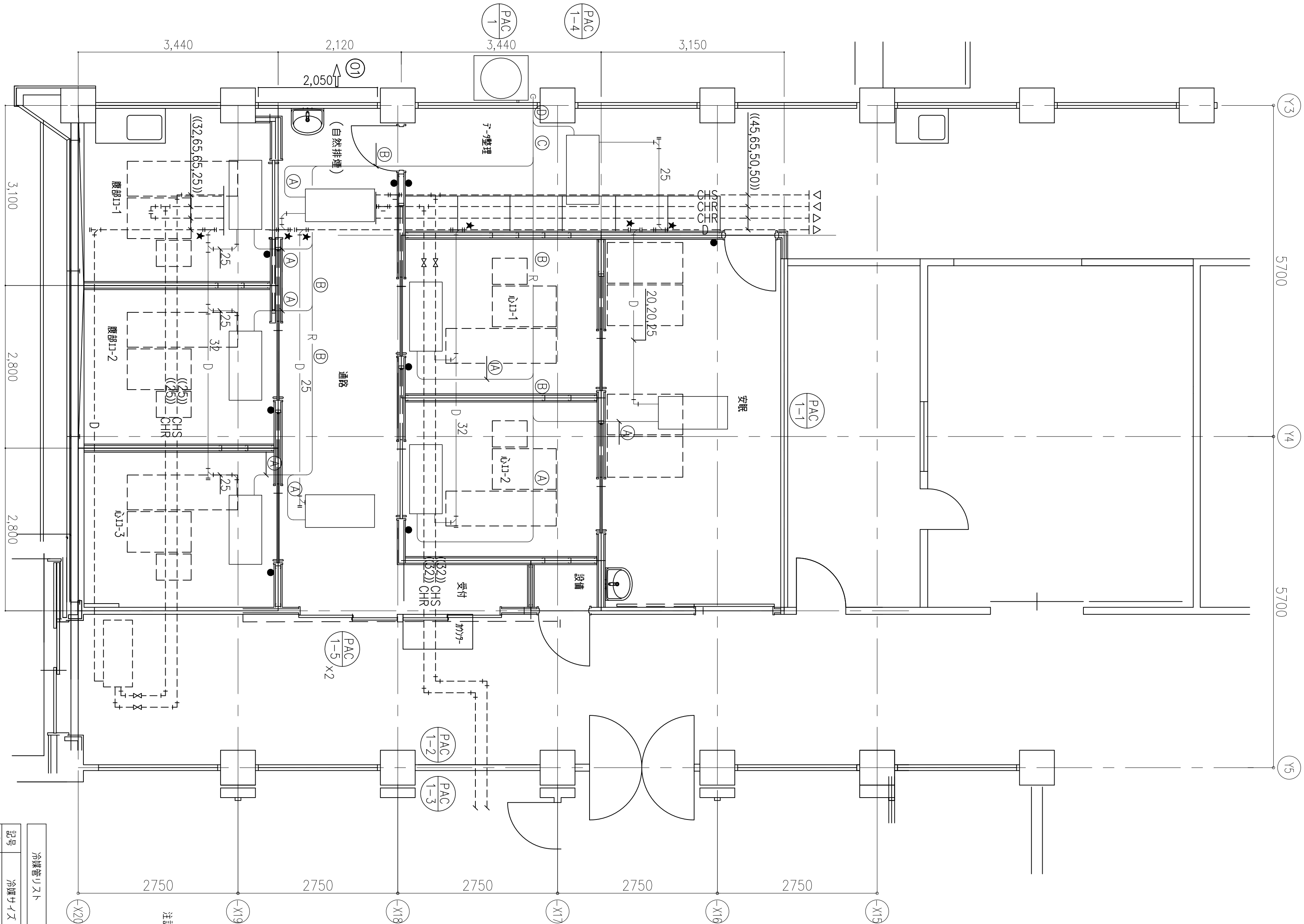
- ※ 床下井スラブへのアンカ一打設・はつりは、病院の業務に影響がない様に施工すること。  
(基本的に土・日・祝日作業とする。)
- ※ 地階廊下など、第三者の通行を妨げる施工に関しては、土・日・祝日又は、夜間作業とする。
- ※ 下階天井内の既設排水配管の撤去更新時は、下階の制限を院内にかけて頂き施工すること。
- ※ 仮囲いエリア外の作業を行う場合は、床・壁の養生を行い、清掃を行う事。
- ※ 請負者は、安全計画等及び消防各種届出・協議、特定施設届出・協議を行う事。





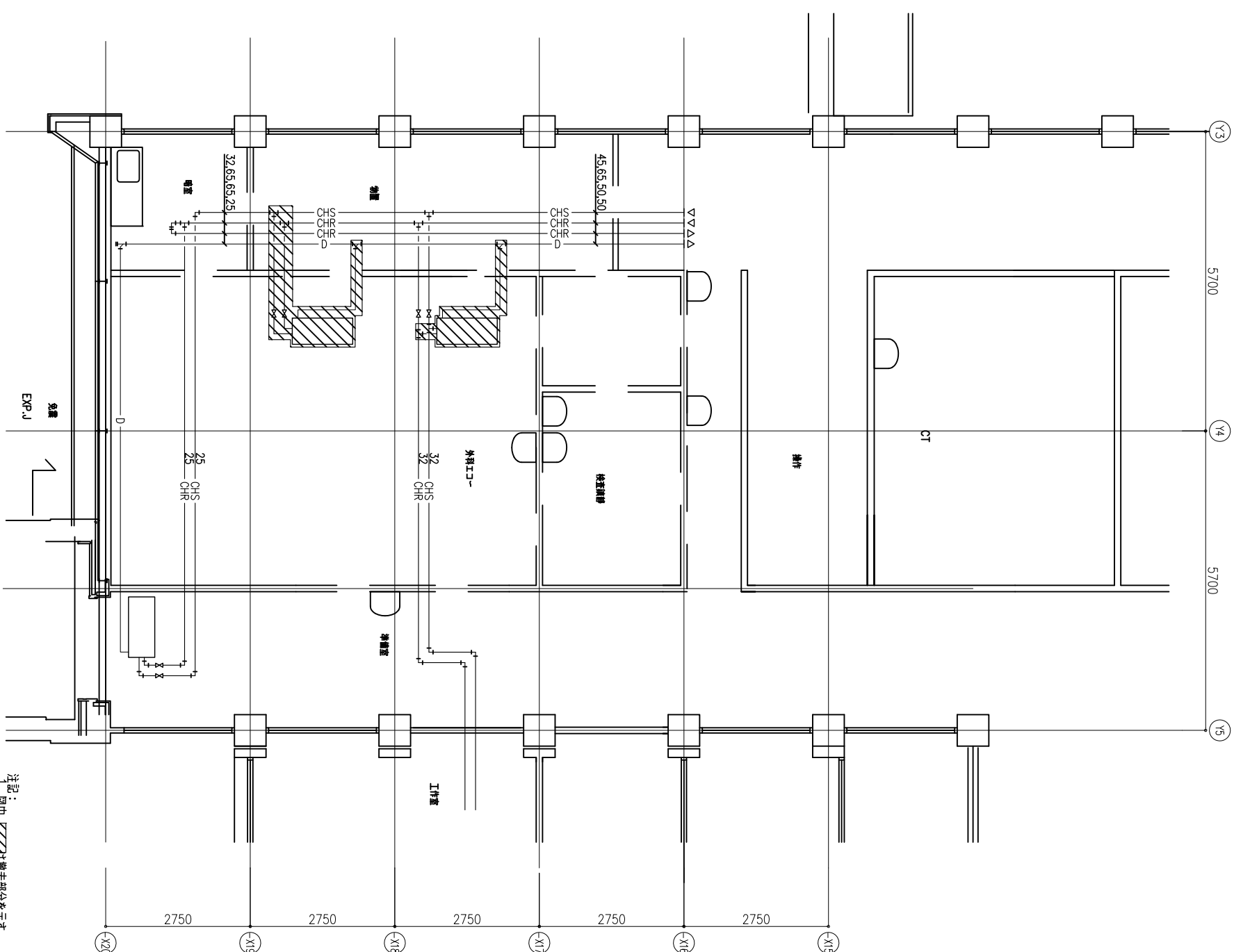
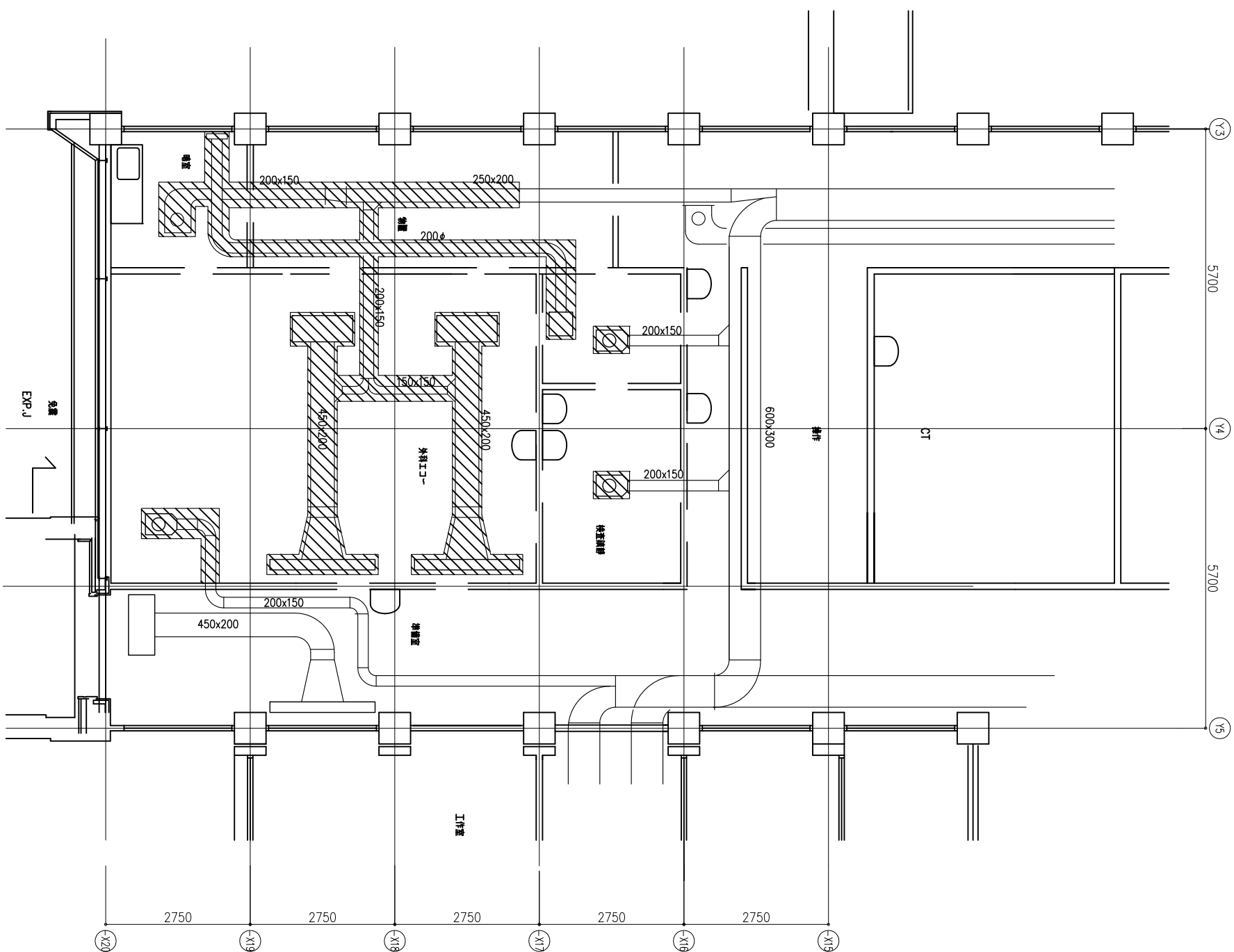


注記) 1、—— 新設を示す  
2、--- 既設を示す  
3、--- 既設設備に接続を示す  
★ 既設設備に接続を示す



注記) 1、—— 新設を示す  
2、--- 既設を示す  
3、--- 既設設備に接続を示す  
4、● 操作スイッチ

冷暖房リスト	
記号	冷暖房サイズ
①	12.7φ x 6.4φ
②	15.9φ x 9.5φ
③	19.1φ x 9.5φ
④	22.2φ x 9.5φ



注記：  
1. 図中  は撤去部分を示す。